

補足資料

売上高及び営業利益の四半期推移

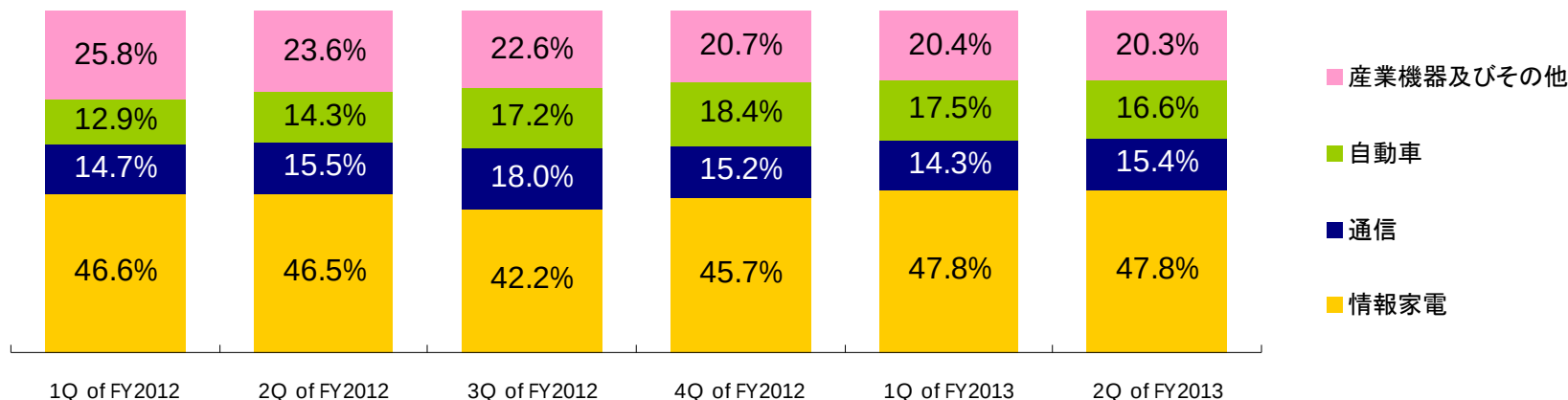


		(億円)	2012年3月期					2013年3月期				
			1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
売上高	コンデンサ		361	342	306	316	1,324	314	292			
	インダクティブデバイス		329	314	286	284	1,212	282	296			
	その他受動部品		328	344	304	305	1,280	318	317			
	受動部品合計		1,017	999	895	905	3,816	915	906			
	記録デバイス		552	533	420	582	2,087	599	558			
	その他磁気応用製品		244	277	260	297	1,077	283	276			
	磁気応用製品		796	810	680	878	3,164	882	834			
	フィルム応用製品		180	224	282	242	927	232	277			
	その他		67	66	57	46	238	58	52			
	合計		2,062	2,099	1,913	2,070	8,145	2,087	2,070			
営業利益	受動部品		38	13	15	△ 132	△ 66	△ 29	△ 25			
	磁気応用製品		86	95	70	140	390	146	132			
	フィルム応用製品		12	26	29	△ 5	63	21	50			
	その他		△ 4	△ 12	△ 7	△ 26	△ 48	△ 4	△ 5			
	小計		132	122	107	△ 23	338	134	152			
	全社および消去		△ 72	△ 37	△ 34	△ 9	△ 151	△ 42	△ 41			
	合計		60	85	74	△ 32	187	92	112			
為替	対ドルレート		81.74	77.96	77.35	79.27	79.07	80.27	78.67			
	対ユーロレート		117.62	110.42	104.30	103.94	109.06	103.18	98.28			

※非継続事業（ディスプレイ事業）除外後の実績値

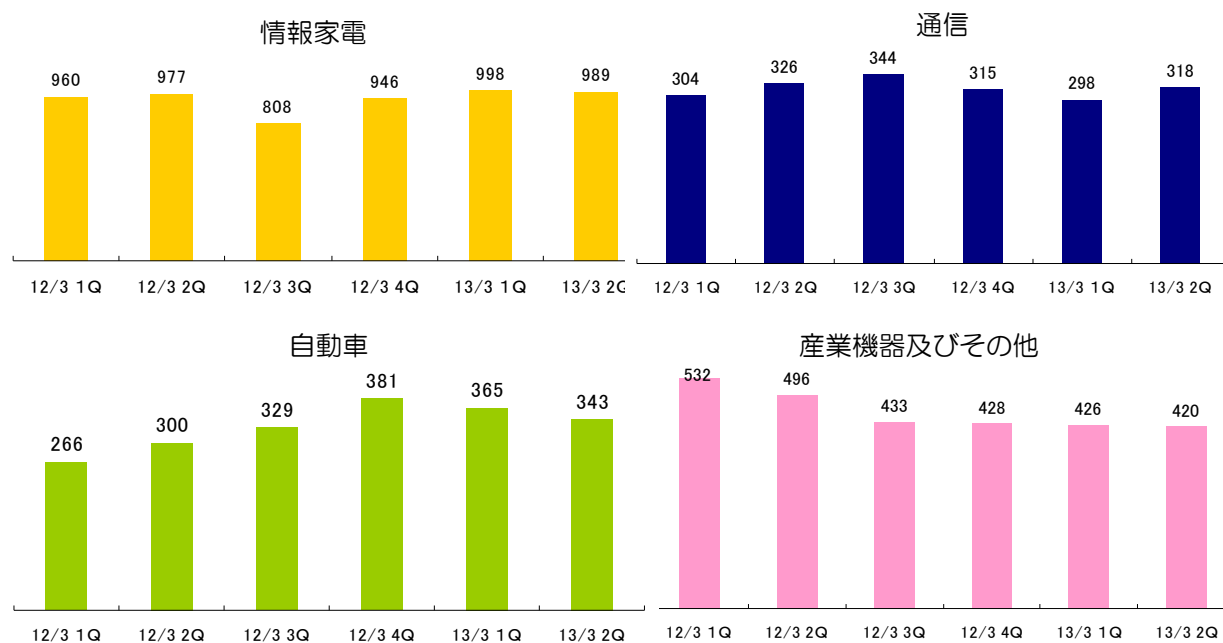
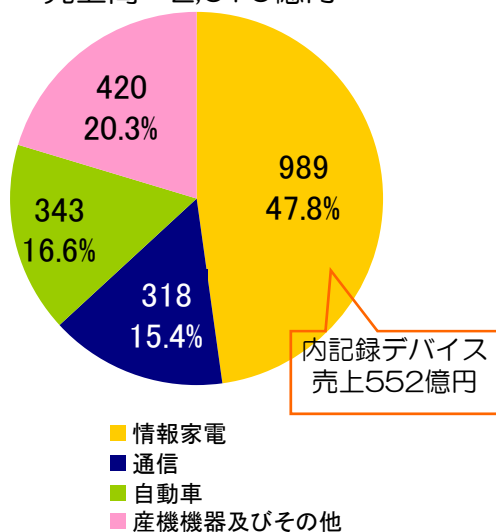
分野別売上高四半期推移 (2012年3月期1Q～2013年3月期2Q)

＜分野別四半期売上比率推移＞



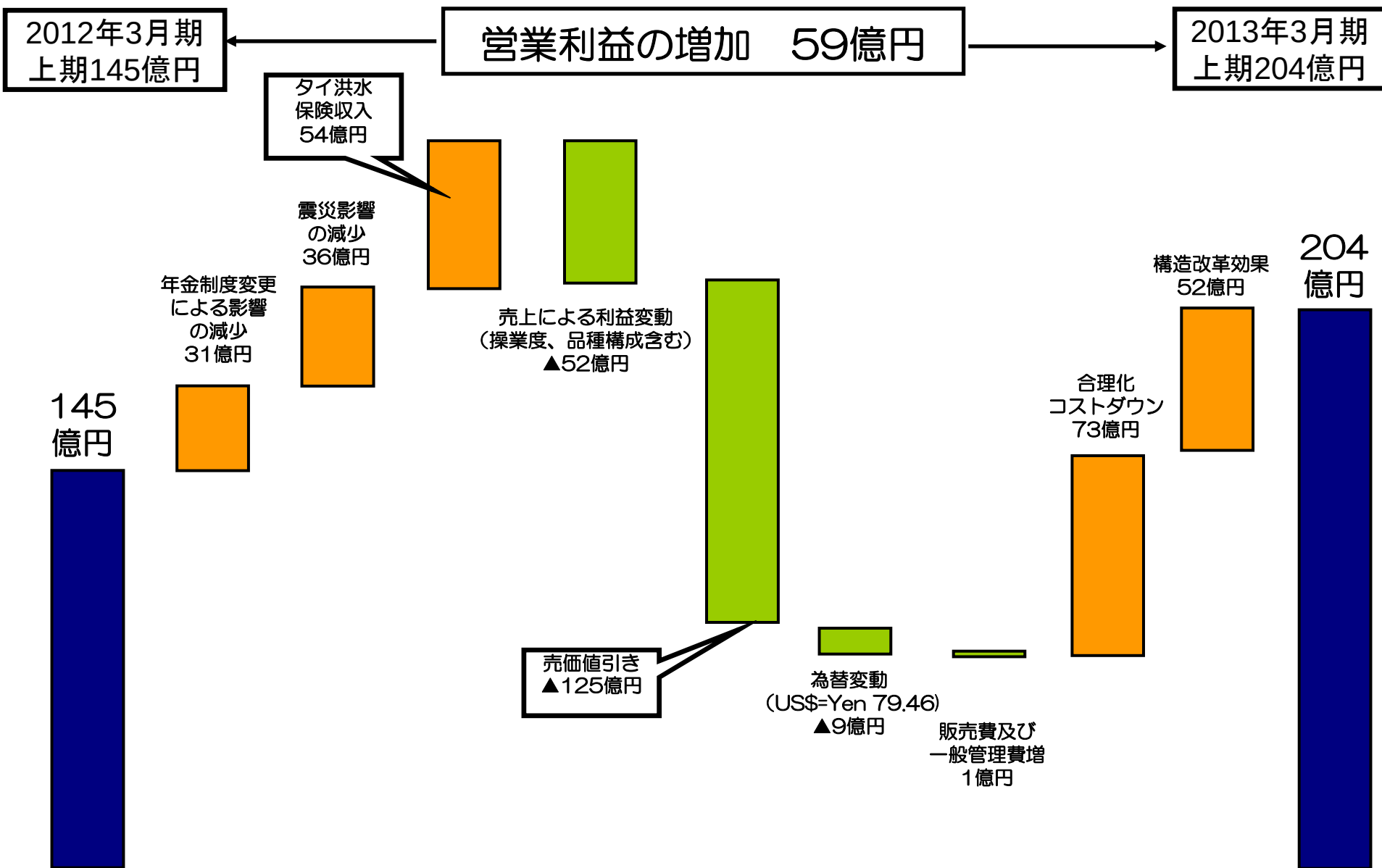
＜分野別四半期売上推移（億円）＞

2013年3月期
2Q分野別内訳（億円）
売上高 2,070億円



※非継続事業（ディスプレイ事業）除外後の実績値

上期営業利益増減分析



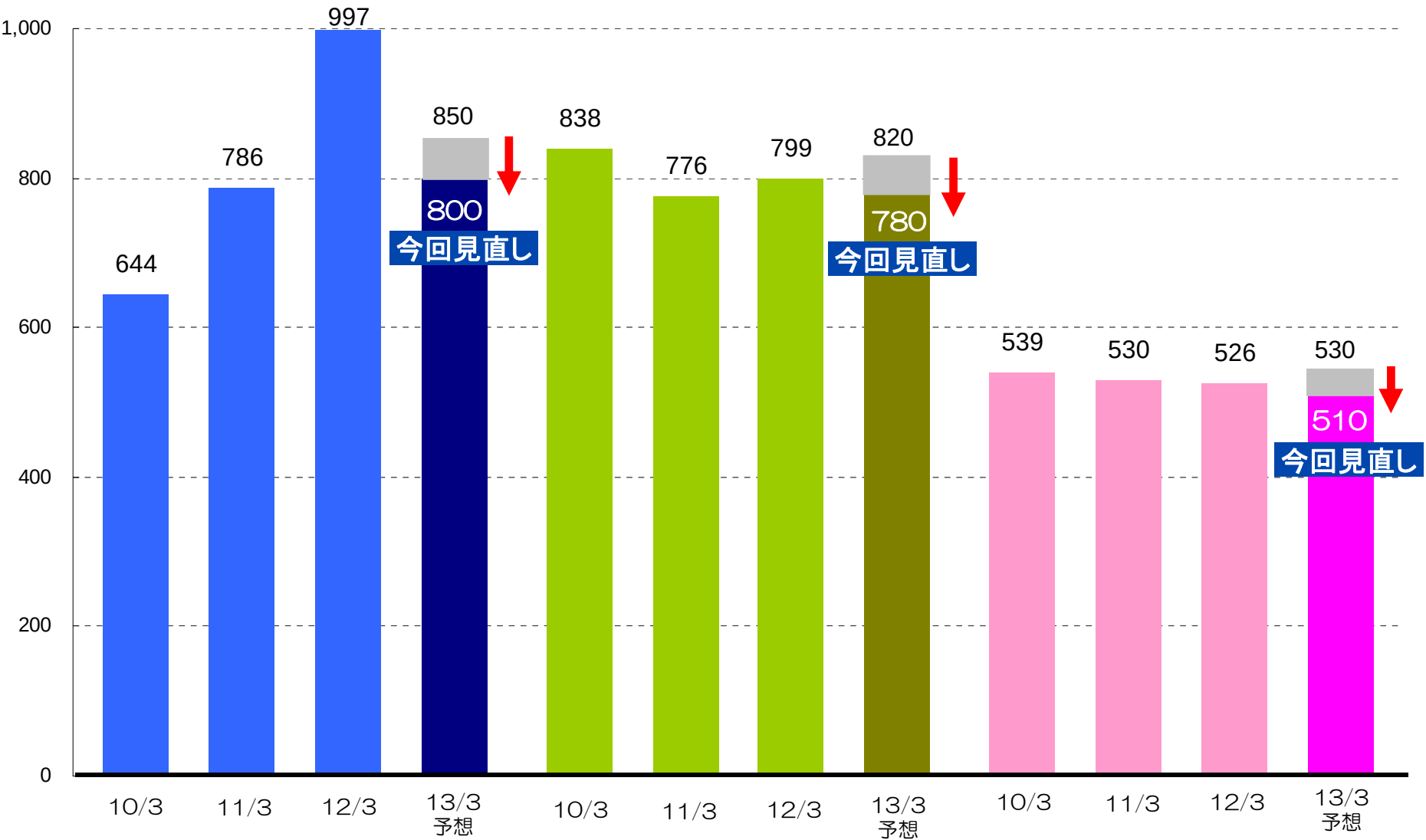
(億円)	2012年3月末	2012年6月末	2012年9月末	対6月末比 増減
総資産	10,728	10,465	10,481	16
負債合計	5,608	5,618	5,634	16
うち有利子負債	2,728	2,807	2,841	34
株主資本	4,982	4,707	4,696	△ 10
(うち包括利益)	△ 2,308	△ 2,578	△ 2,643	△ 65
株主資本比率	46.4%	45.0%	44.8%	△0.2pt

固定資産の取得

減価償却費

研究開発費

(億円)



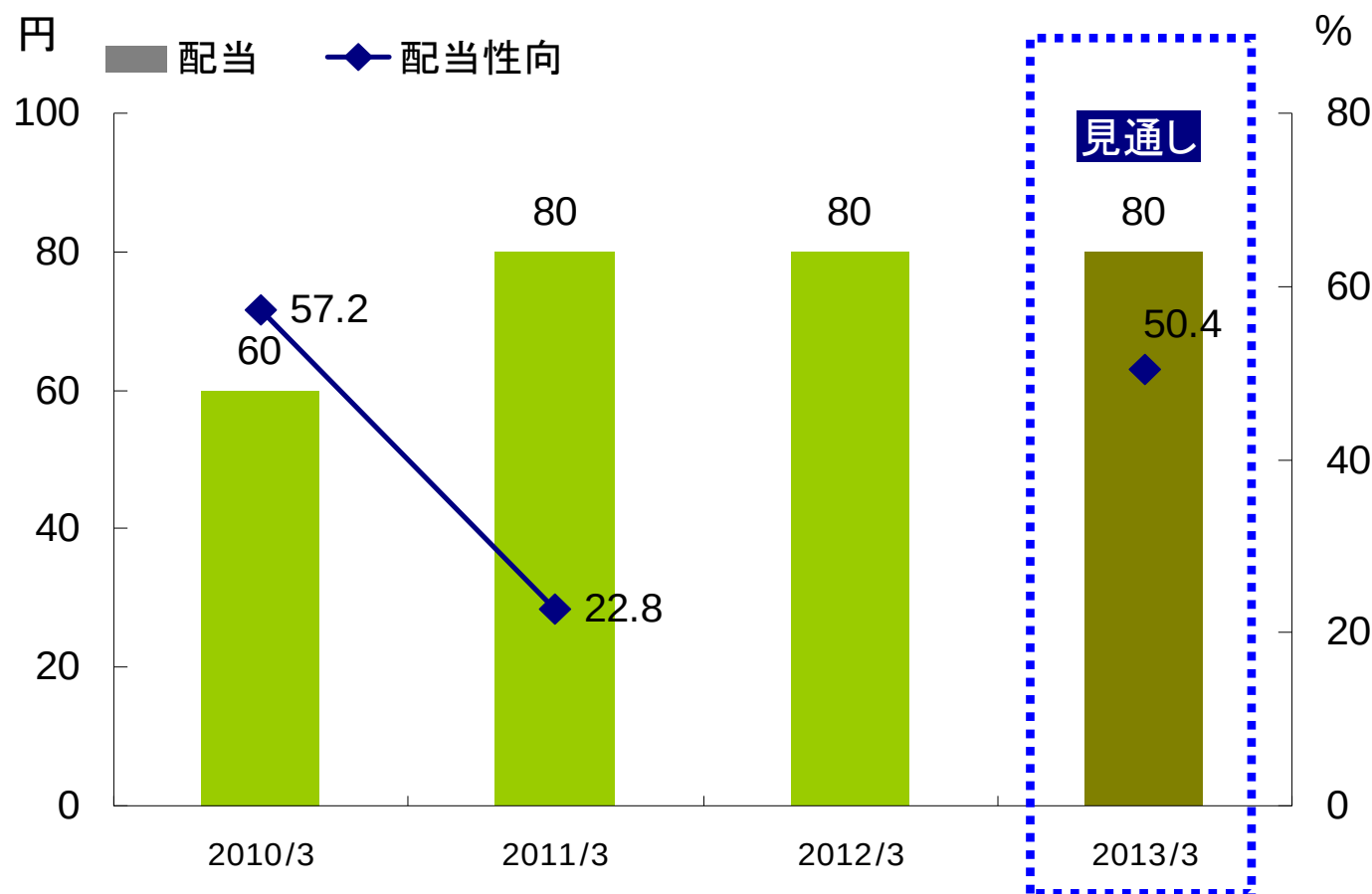
2013年3月期連結業績予想 - 配当金 -

◆1株当たり配当金見通しの修正

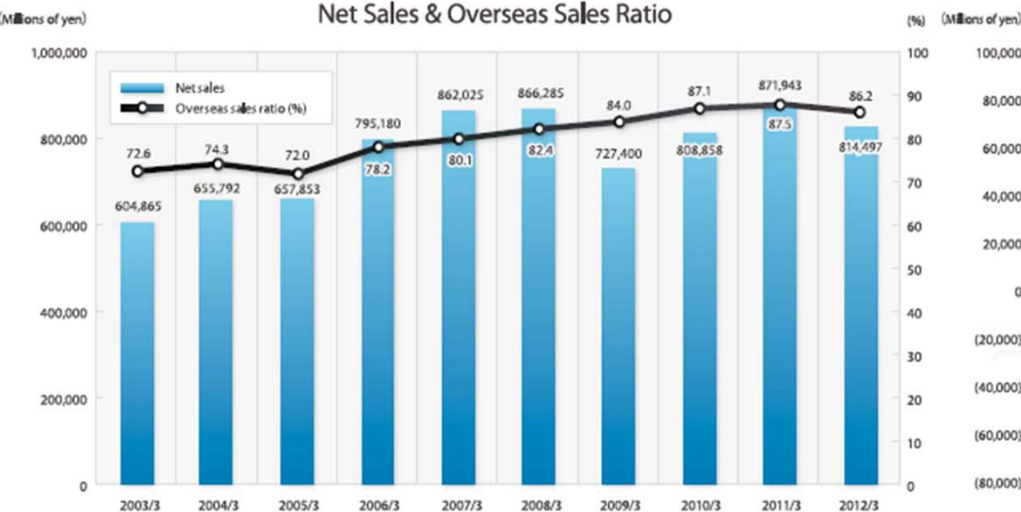
中間配当金 40円

期末配当金 40円（見通し） ←従来見通し：50円

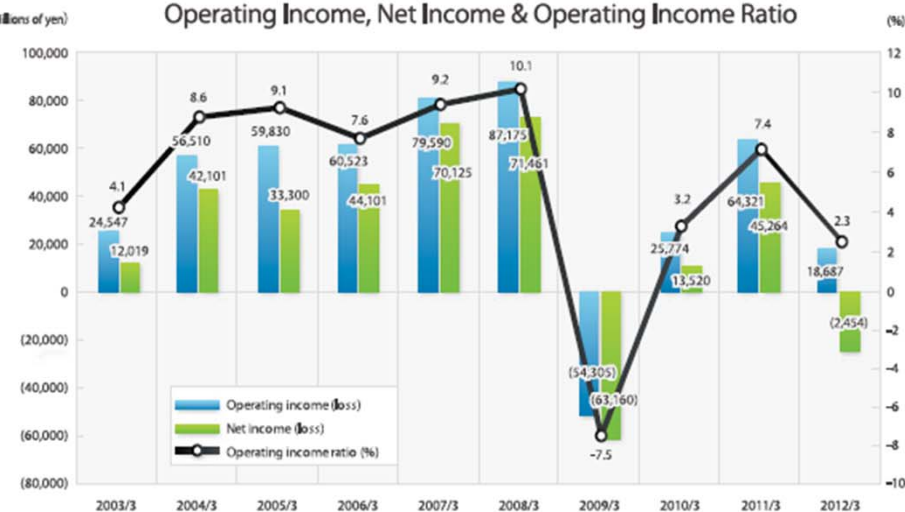
年間配当金 80円（見通し） ←従来見通し：90円



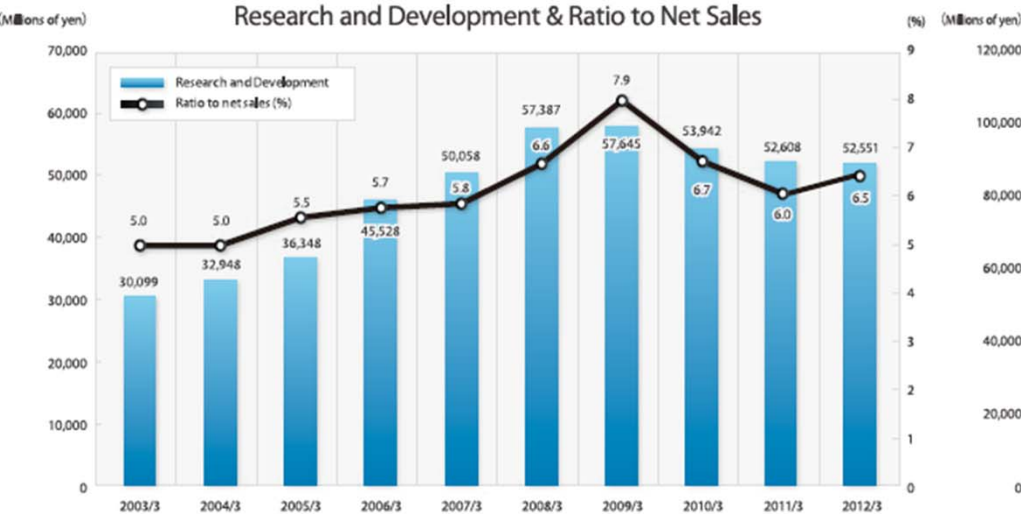
Net Sales & Overseas Sales Ratio



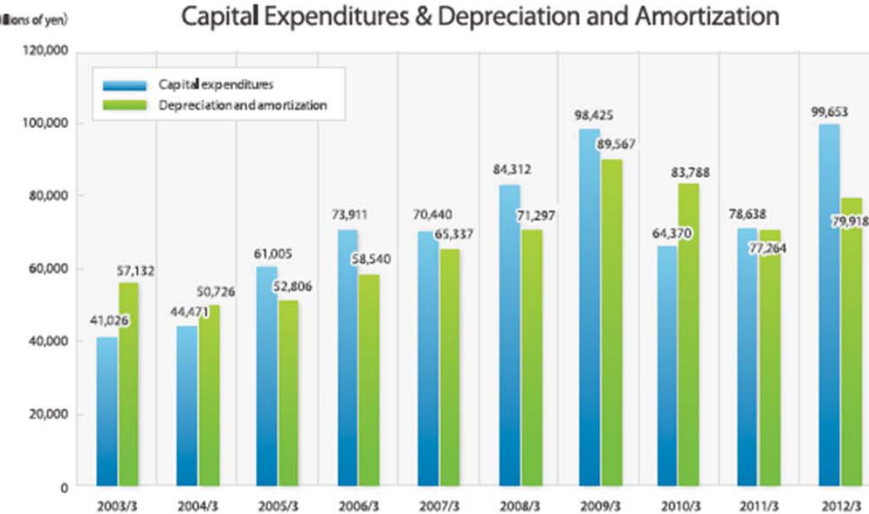
Operating Income, Net Income & Operating Income Ratio

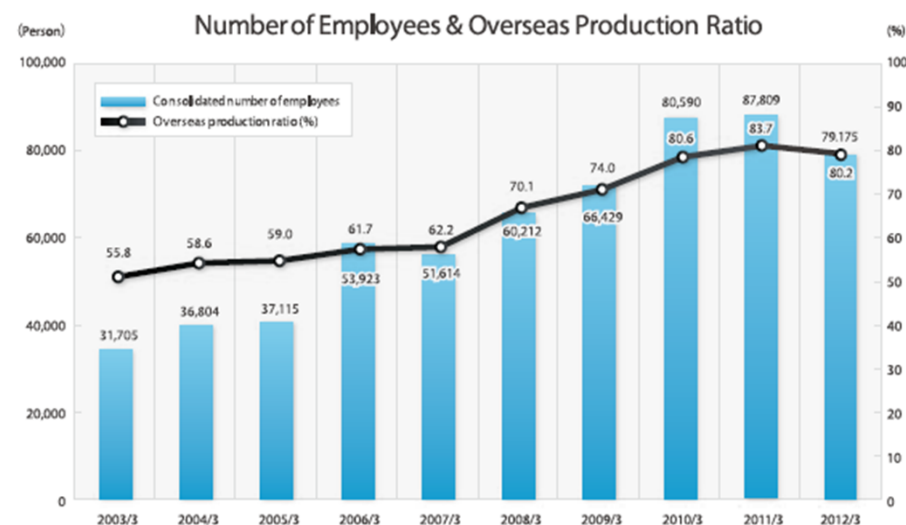
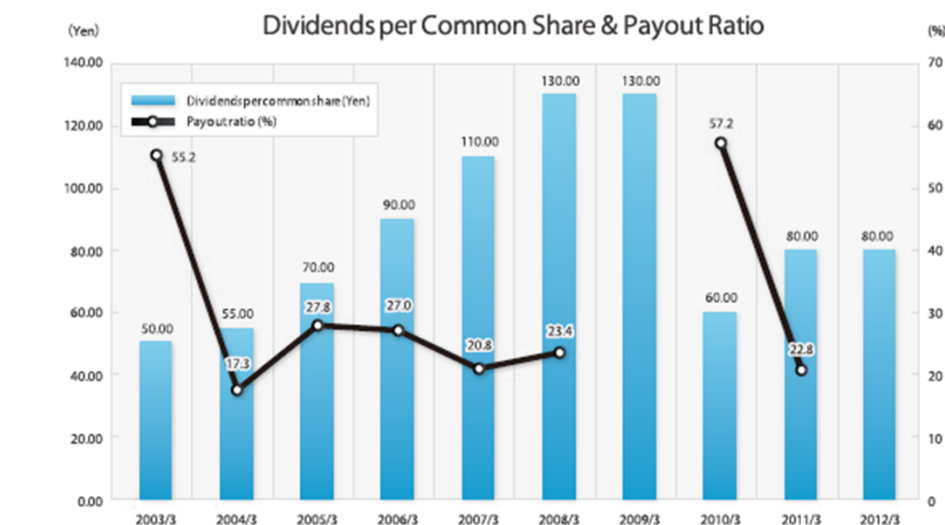
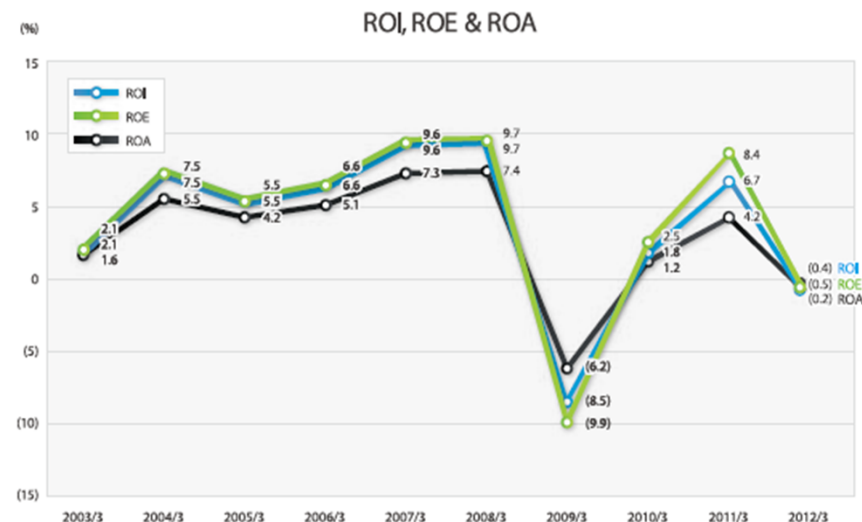
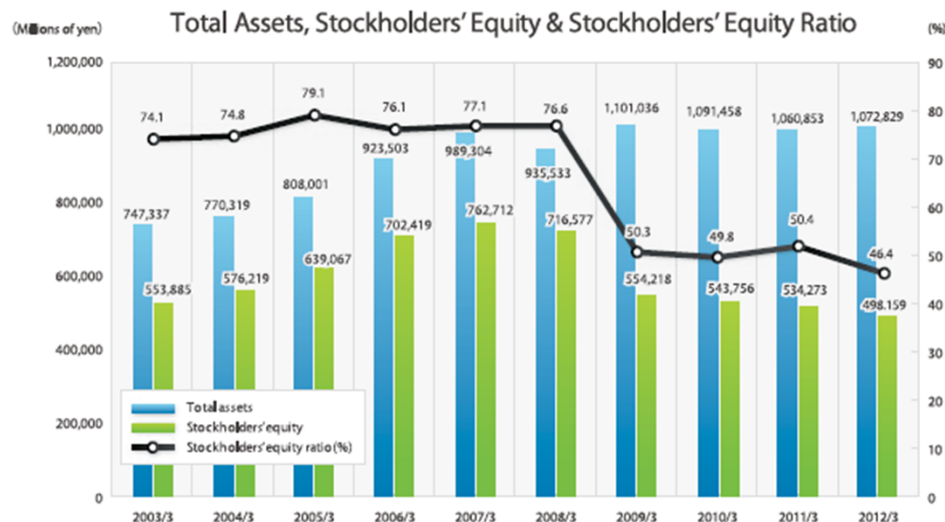


Research and Development & Ratio to Net Sales



Capital Expenditures & Depreciation and Amortization





説明会資料に関してご留意頂きたい点

当社の事業のセグメントは、**前期より**「受動部品」、「磁気応用製品」及び「フィルム応用製品」の3つの報告セグメントとそれらに属さない「その他」に分類しております。

従前セグメント

セグメント	構成する主な事業	報告セグメント + その他
受動部品	セラミックコンデンサ、アルミ電解コンデンサ、フィルムコンデンサ、インダクティブデバイス、高周波部品、圧電材料部品・回路保護部品、センサ	
磁気応用製品	記録デバイス、電源、マグネット、 記録メディア	
その他	エナジーデバイス(二次電池) 、メカトロニクス(製造設備)等	

現行セグメント

セグメント	構成する主な事業	報告セグメント + その他
受動部品	セラミックコンデンサ、アルミ電解コンデンサ、フィルムコンデンサ、インダクティブデバイス、高周波部品、圧電材料部品・回路保護部品、センサ	
磁気応用製品	記録デバイス、電源、マグネット	
フィルム応用製品	エナジーデバイス(二次電池) アプライドフィルム(旧記録メディア)	
その他	メカトロニクス(製造設備)等	

「磁気応用製品」に属していた「記録メディア」は、一部製品の終息及びセパレータ事業の買収により主要製品が機能性フィルム製品へとシフトしていることから、「アプライドフィルム」と名称を変更し、コア技術や市場等において類似性があるエナジーデバイスとともに、前期より新たな報告セグメント「フィルム応用製品」として分類しております。

この資料には、当社または当社グループ（以下、TDKグループといいます。）に関する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、認識、評価等といった、将来に関する記述があります。これらの将来に関する記述は、TDKグループが、現在入手している情報に基づく予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として作成しているものであり、既知または未知のリスク、不確実性、その他の要因を含んでいるものです。従って、これらのリスク、不確実性、その他の要因による影響を受けることがあるため、TDKグループの将来の実績、経営成績、財務状態が、将来に関する記述に明示的または黙示的に示された内容と大幅に異なったものとなる恐れもあります。また、TDKグループはこの資料を発行した後は、適用法令の要件に服する場合を除き、将来に関する記述を更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

TDKグループの主たる事業活動領域であるエレクトロニクス市場は常に急激な変化に晒されています。TDKグループに重大な影響を与え得る上記のリスク、不確実性、その他の要因の例として、技術の進化、需要、価格、金利、為替の変動、経済環境、競合条件の変化、法令の変更等があります。なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません。

又、本資料では、業績の概略を把握していただく目的で、多くの数値は億円単位にて表示しております。百万円単位にて管理している原数値を丸めて表示しているため、本資料に表示されている合計額、差額などが1億円の桁において、不正確と見える場合があります。詳細な数値が必要な場合は、決算短信及び補足資料を参照していただきますようお願いいたします。



決算説明会の質疑応答を含むテキスト情報は以下のページに後日掲載をいたします。
http://www.tdk.co.jp/ir/ir_events/conference/2013/2q_1.htm